

著者紹介（掲載順）

石川輝吉（いしかわ・てるきち）

一九七一年生まれ。哲学者。桜美林大学、日本社会事業大学、早稲田大学非常勤講師。著書に『カント信じるための哲学』（NHKブックス）、『ニーチェはこう考えた』（ちくまプリマー新書）など。

竹田青嗣（たけだ・せいじ）

一九四七年大阪生まれ。早稲田大学国際教養学部教授。哲学者・文芸評論家。文芸評論、思想評論とともに、実存論的な人間論を中心として哲学活動を続ける。フッサール現象学を基礎として、哲学的思考の原理論としての欲望論哲学を構想。

西研（にし・けん）

一九五七年鹿児島県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、社会哲学専攻。京都精華大学助教授、和光大学教授を経て、現在は東京医科大学教授（哲学教室）。教育出版小学校国語教科書『広がる言葉』編集委員。著書に『ヘーゲル・大人のなりかた』（NHKブックス）、『哲学的思考』（ちくま学芸文庫）ほか多数。共著に『はじめてのヘーゲル「精神現象学」』（竹田青嗣との共著、講談社現代新書）、『風景とローカル・ガバナンス』（中村良夫・鳥越皓

之編、早稲田大学出版会）、『人間科学にとってエヴィデンスとは何か』（小林隆児と共編、新曜社）など。

苦野一徳（とまの・いっとく）

一九八〇年生まれ。哲学者・教育学者。熊本大学教育学部准教授。早稲田大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士（教育学）。著書に、『「自由」はいかに可能か』（NHKブックス）、『教育の力』（講談社現代新書）、『勉強するのは何のため？』（日本評論社）、『どのような教育が「よい」教育か』（講談社選書メチエ）など。

行岡哲男（ゆきおか・てつお）

一九五一年生。七六年東京医科大学卒業。専門は救急・災害医学、現象学的医療論。大阪大学特殊救急部などを経て二〇〇〇年より現職。米国外傷外科学会名誉会員、国際熱傷学会副会長、東京医科大学病院長、日本熱傷学会会長・理事長などを歴任。日本救急医学会代表理事を務める。著作：『医療とは何か』現場で根本問題を解きほぐす（河出書房新社）。翻訳：『トップナイフ』外傷手術の技・腕・巧み（医学書院）。